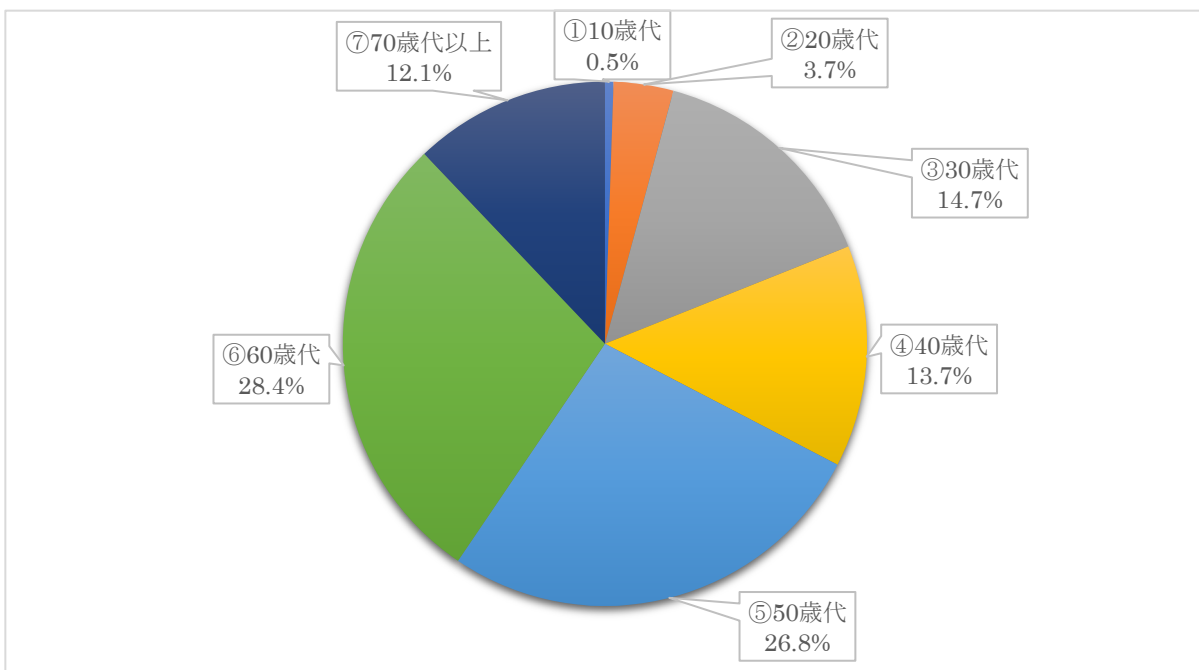


共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂性のある社会を目指して～ 参加者アンケート集計結果

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とは限らない。

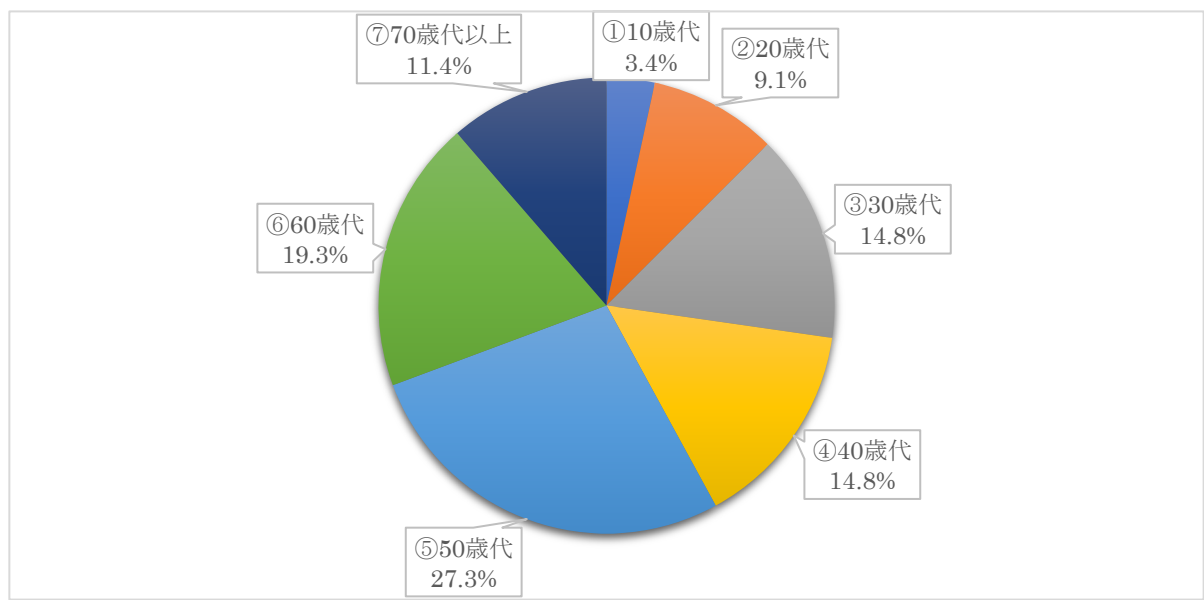
1-1-1. ご自身の年齢について、当てはまるものを選んでください。

1	10歳代	1人
2	20歳代	7人
3	30歳代	28人
4	40歳代	26人
5	50歳代	51人
6	60歳代	54人
7	70歳代以上	23人
8	無回答	0人
	計	190人



1-1-2. 複数人で視聴された場合は年齢の欄にそれぞれの人数を選択してください。
 (ご自身は、人数に含めないでください)

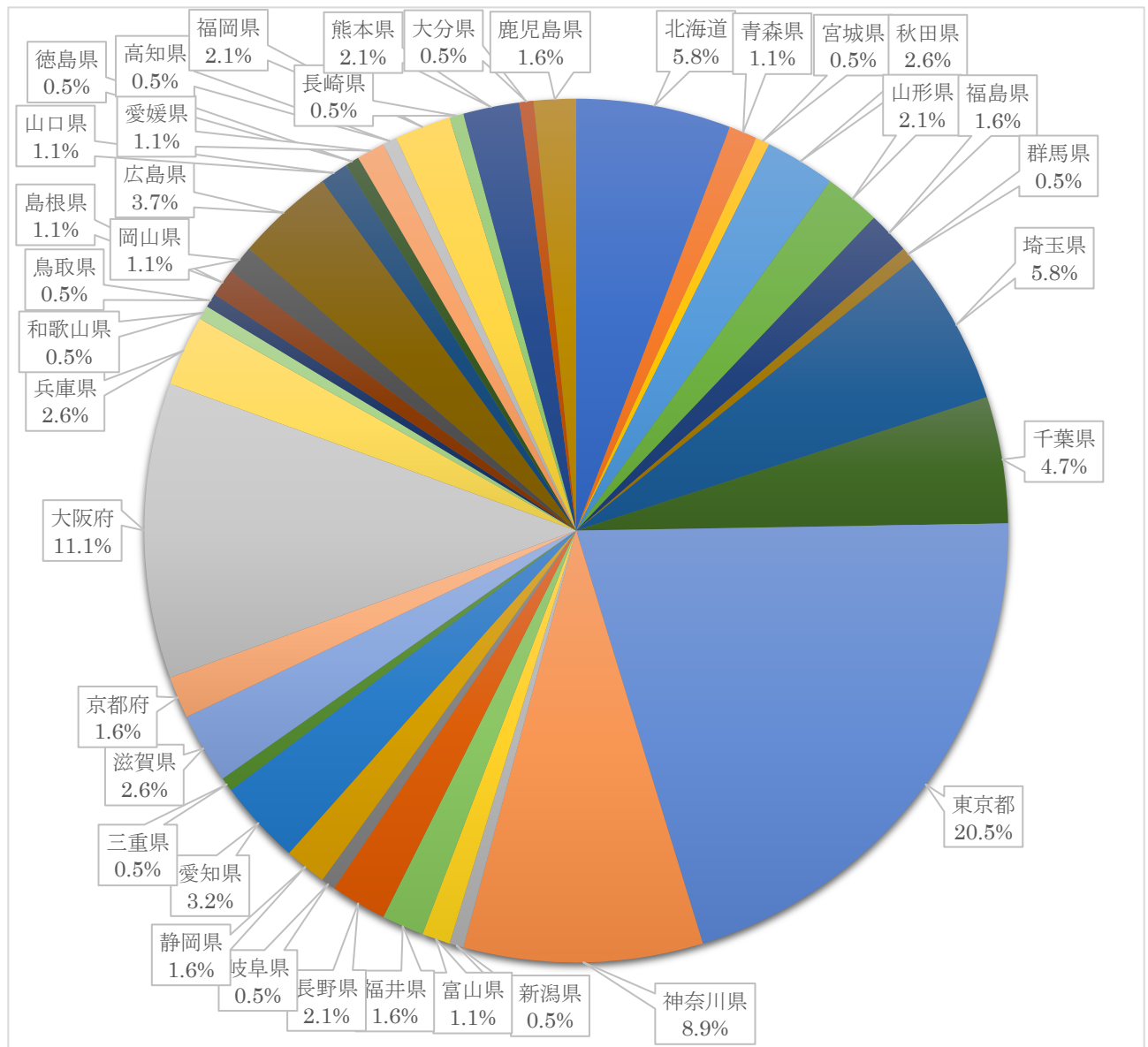
1	10 歳代	3 人
2	20 歳代	8 人
3	30 歳代	13 人
4	40 歳代	13 人
5	50 歳代	24 人
6	60 歳代	17 人
7	70 歳代以上	10 人
	計	88 人



1-2. ご自身の居住地について、当てはまるものを選んでください。

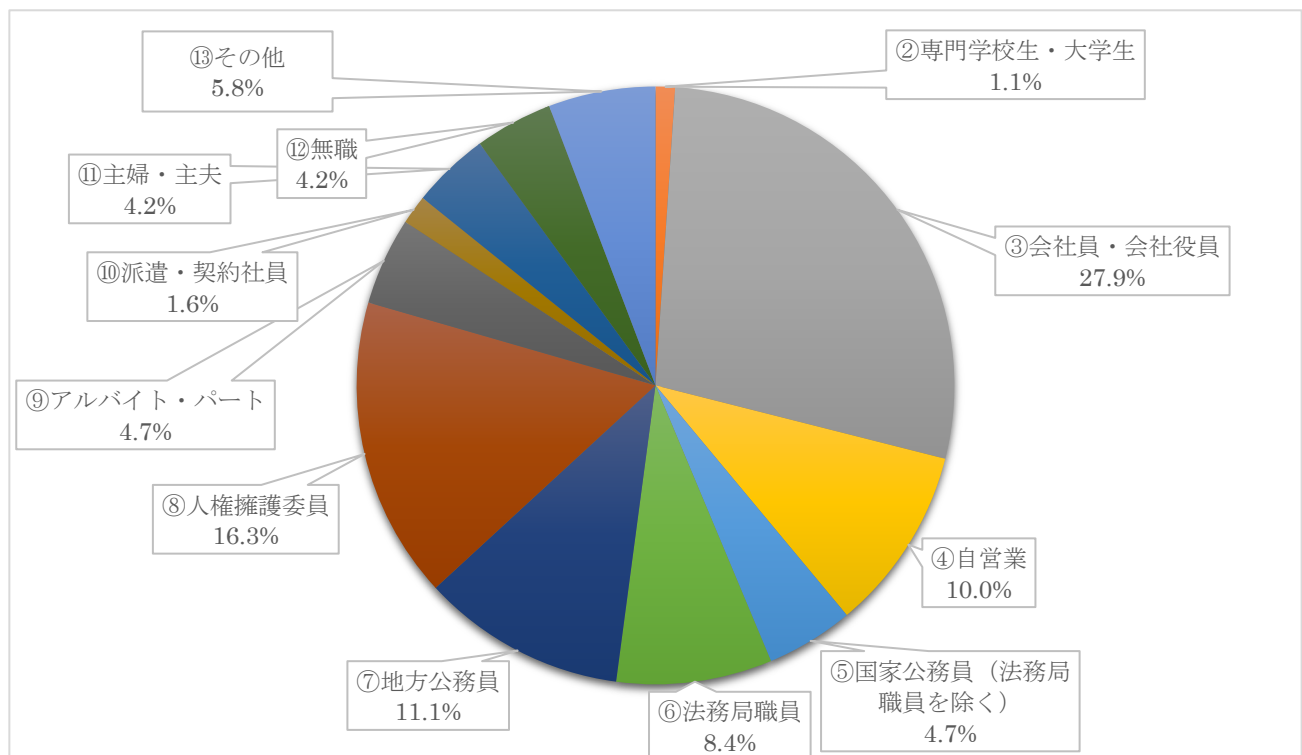
1	北海道	11人
2	青森県	2人
3	岩手県	0人
4	宮城県	1人
5	秋田県	5人
6	山形県	4人
7	福島県	3人
8	茨城県	0人
9	栃木県	0人
10	群馬県	1人
11	埼玉県	11人
12	千葉県	9人
13	東京都	39人
14	神奈川県	17人
15	新潟県	1人
16	富山県	2人
17	石川県	0人
18	福井県	3人
19	山梨県	0人
20	長野県	4人
21	岐阜県	1人
22	静岡県	3人
23	愛知県	6人
24	三重県	1人
25	滋賀県	5人
26	京都府	3人
27	大阪府	21人
28	兵庫県	5人
29	奈良県	0人
30	和歌山県	1人
31	鳥取県	1人
32	島根県	2人
33	岡山県	2人
34	広島県	7人
35	山口県	2人
36	徳島県	1人
37	香川県	0人

38	愛媛県	2人
39	高知県	1人
40	福岡県	4人
41	佐賀県	0人
42	長崎県	1人
43	熊本県	4人
44	大分県	1人
45	宮崎県	0人
46	鹿児島県	3人
47	沖縄県	0人
48	その他	0人
	無回答	0人
	計	190人



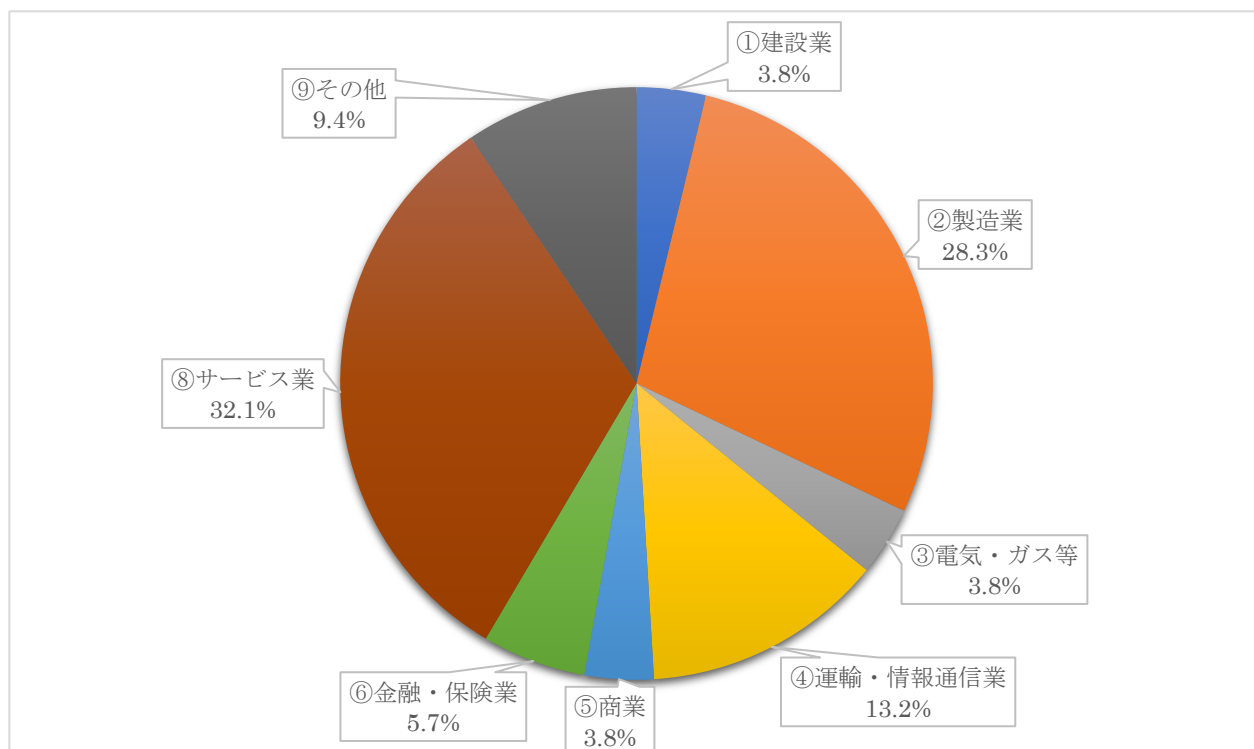
1-3. ご自身の職業等について、当てはまるものを選んでください。

1	① 小学生・中学生・高校生	0人
2	② 専門学校生・大学生	2人
3	③ 会社員・会社役員	53人
4	④ 自営業	19人
5	⑤ 国家公務員（法務局職員を除く）	9人
6	⑥ 法務局職員	16人
7	⑦ 地方公務員	21人
8	⑧ 人権擁護委員	31人
9	⑨ アルバイト・パート	9人
10	⑩ 派遣・契約社員	3人
11	⑪ 主婦・主夫	8人
12	⑫ 無職	8人
13	⑬ その他	11人
	無回答	0人
	計	190人



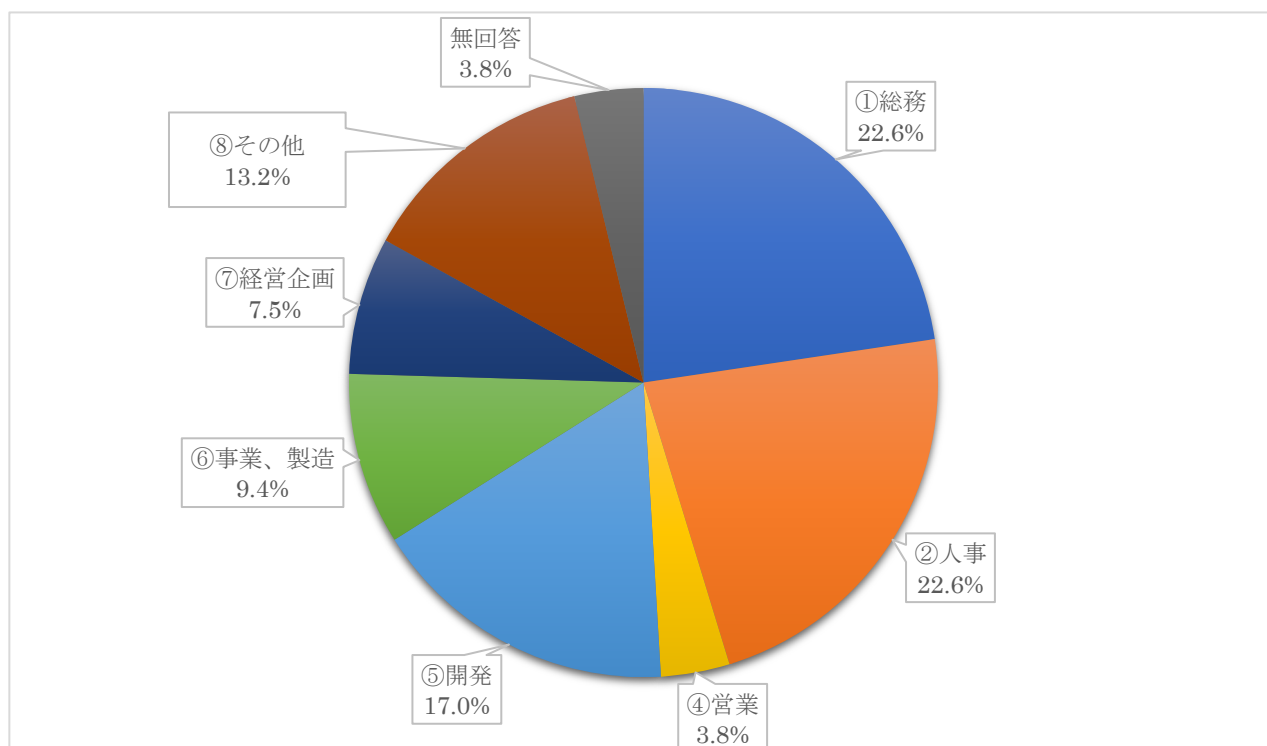
1-4-1. 「1-3」で「③会社員・会社役員」とお答えいただいた方のみ当てはまる「業種」を選んでください。

1	① 建設業	2人
2	② 製造業	15人
3	③ 電気・ガス等	2人
4	④ 運輸・情報通信業	7人
5	⑤ 商業	2人
6	⑥ 金融・保険業	3人
7	⑦ 不動産業	0人
8	⑧ サービス業	17人
9	⑨ その他	5人
10	無回答	0人
	計	53人



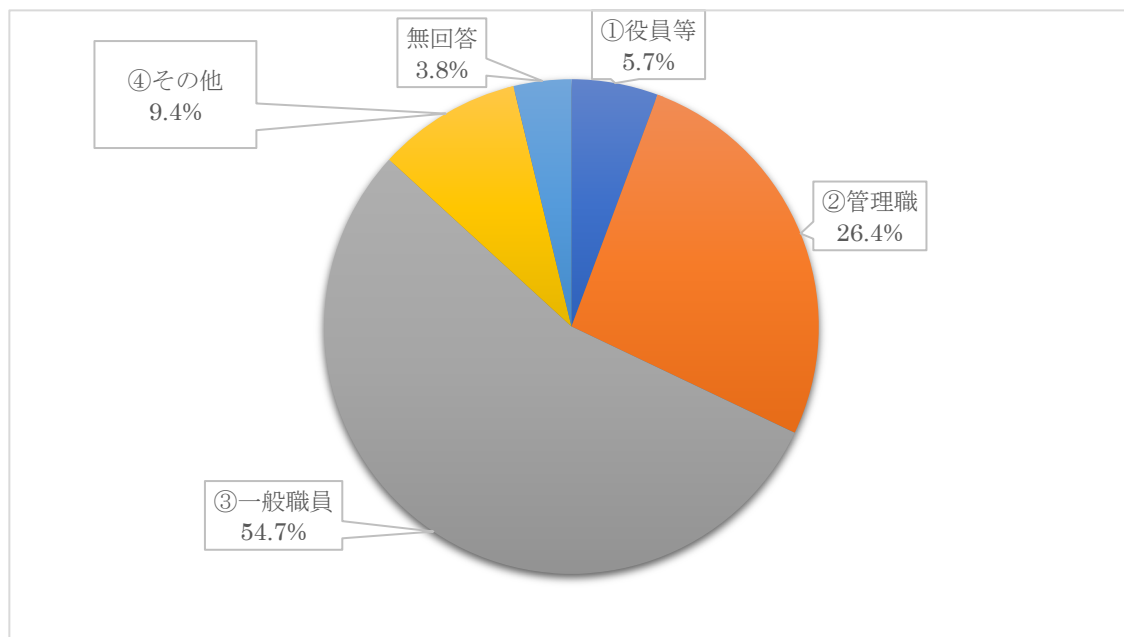
1-5-1. 「1-3」で「③会社員・会社役員」とお答えいただいた方のみ当てはまる「部署」を選んでください。

1	① 総務	12 人
2	② 人事	12 人
3	③ 経理	0 人
4	④ 営業	2 人
5	⑤ 開発	9 人
6	⑥ 事業、製造	5 人
7	⑦ 経営企画	4 人
8	⑧ その他	7 人
9	無回答	2 人
	計	53 人



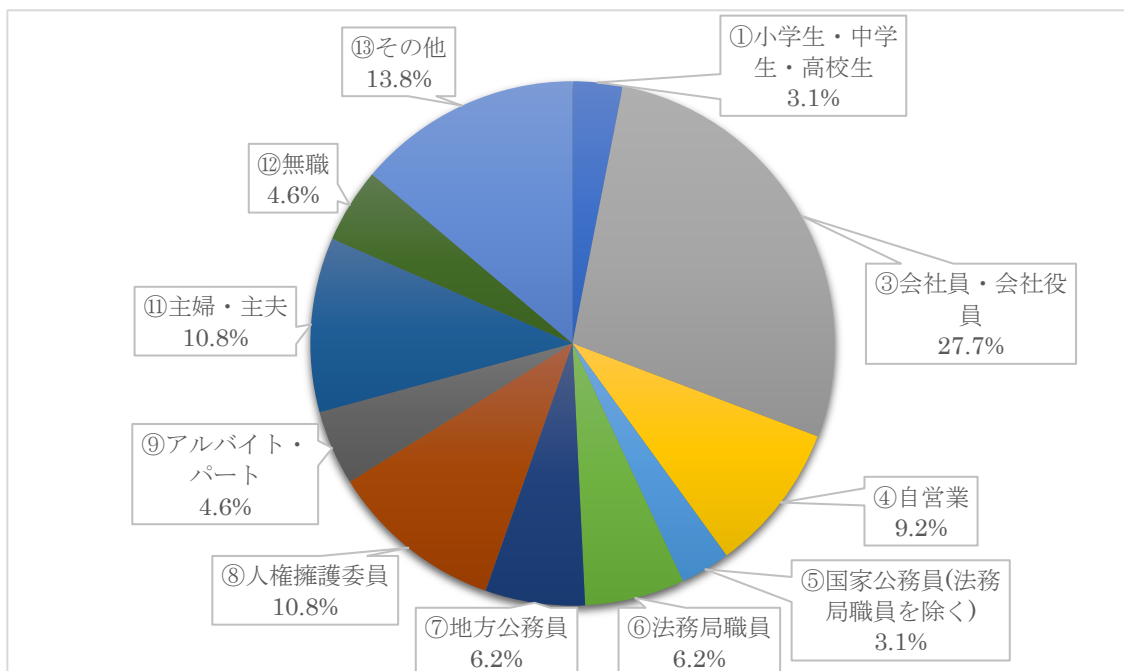
1-6-1. 「1-3」で「③会社員・会社役員」とお答えいただいた方のみ当てはまる「役職」を選んでください。

1	① 役員等	3人
2	② 管理職	14人
3	③ 一般職員	29人
4	④ その他	5人
5	無回答	2人
	計	53人



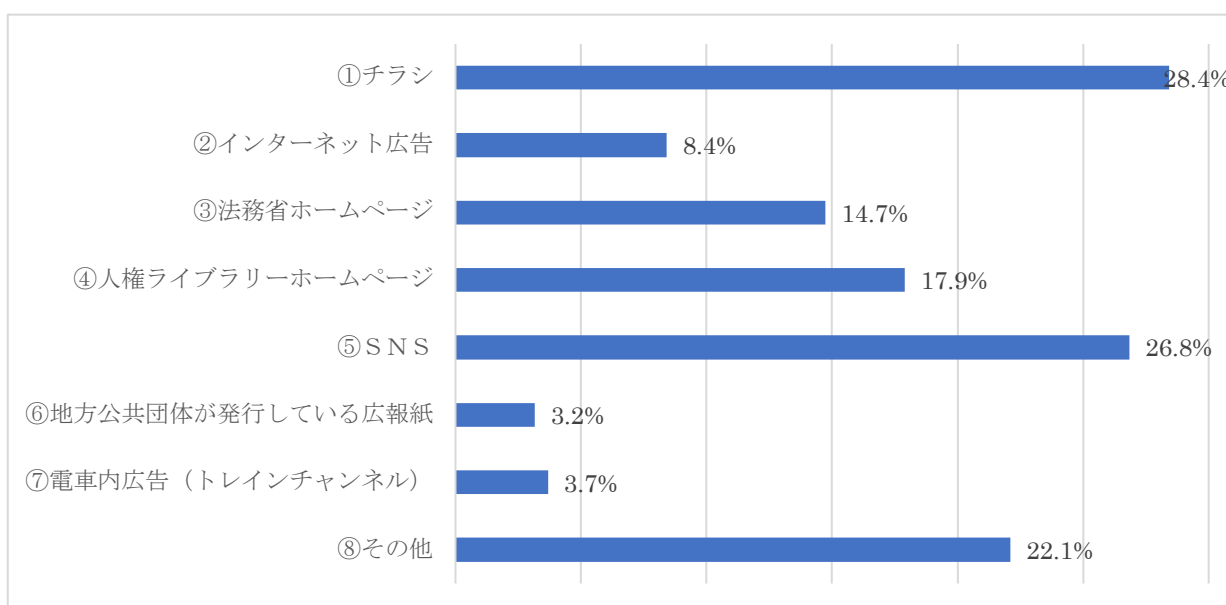
1-7. 複数人で視聴された場合は職業等の欄にそれぞれの人数を選択してください（ご自身は、人数に含めないでください）。

1	① 小学生・中学生・高校生	2人
2	② 専門学校生・大学生	0人
3	③ 会社員・会社役員	18人
4	④ 自営業	6人
5	⑤ 国家公務員(法務局職員を除く)	2人
6	⑥ 法務局職員	4人
7	⑦ 地方公務員	4人
8	⑧ 人権擁護委員	7人
9	⑨ アルバイト・パート	3人
10	⑩ 派遣・契約社員	0人
11	⑪ 主婦・主夫	7人
12	⑫ 無職	3人
13	⑬ その他	9人
	無回答	0人
	計	65人



2-1. 「共生社会と人権に関するシンポジウム～多様性と包摂性のある社会を目指して～」を
どのようにして知りましたか。(複数回答可)

1	① チラシ	54 人
2	② インターネット広告	16 人
3	③ 法務省ホームページ	28 人
4	④ 人権ライブラリーホームページ	34 人
5	⑤ SNS	51 人
6	⑥ 地方公共団体が発行している広報誌	6 人
7	⑦ 電車内広告 (トレインチャンネル)	7 人
	⑧ その他	42 人
	無回答	0 人
	計	238 人

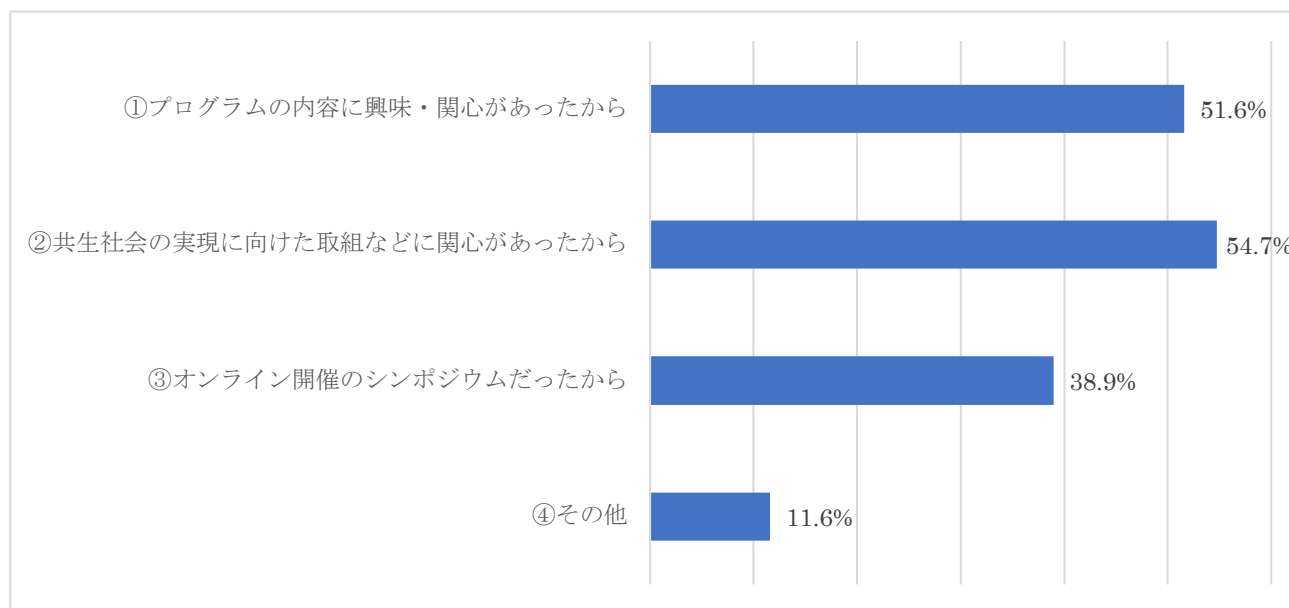


n = 190

※ n (=回答者数) に対する割合

3-1. このシンポジウムを視聴しようと思ったきっかけを教えてください。(複数回答可)

1	① プログラムの内容に興味・関心があったから	98 人
2	② 共生社会の実現に向けた取組などに関心があったから	104 人
3	③ オンライン開催のシンポジウムだったから	74 人
4	④ その他	22 人
	無回答	0 人
	計	298 人

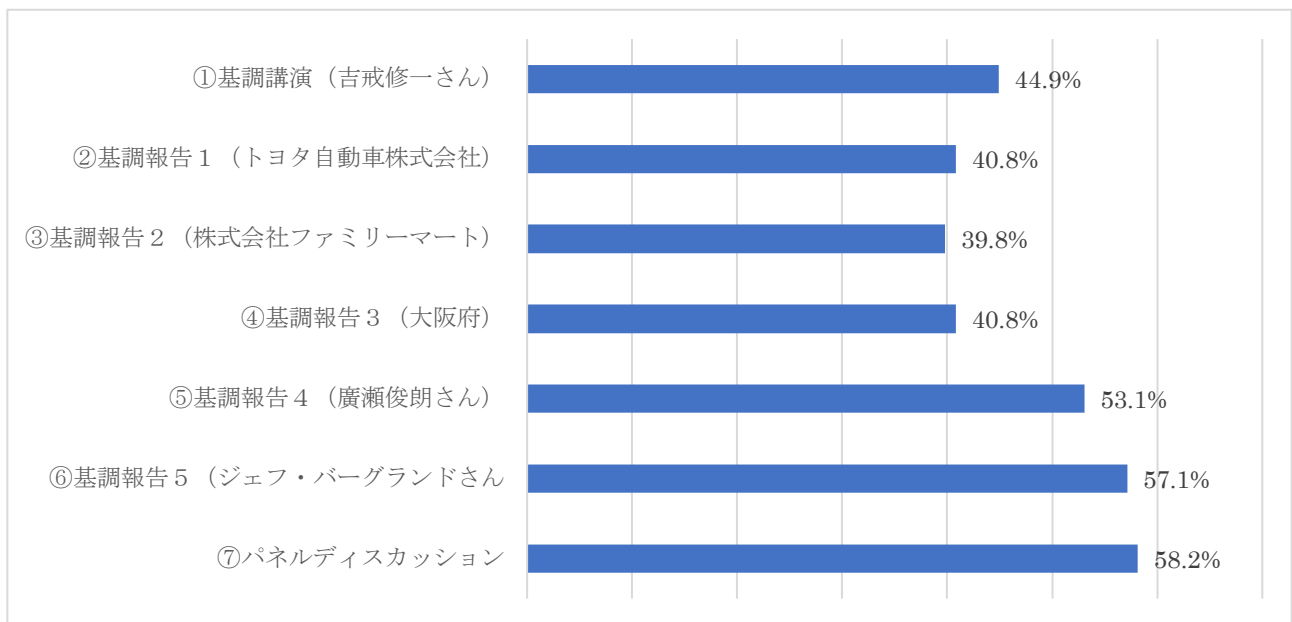


n = 190

※ n (=回答者数) に対する割合

3-2. 「3-1」で「①プログラムの内容に興味・関心があったから」とお答えいただいた方に伺います。具体的にどのプログラムに興味・関心があったかお聞かせください。(複数回答可)

1	① 基調講演（吉戒修一さん）	44 人
2	② 基調報告 1（トヨタ自動車株式会社）	40 人
3	③ 基調報告 2（株式会社ファミリーマート）	39 人
4	④ 基調報告 3（大阪府）	40 人
5	⑤ 基調報告 4（廣瀬俊朗さん）	52 人
6	⑥ 基調報告 5（ジェフ・バーグランドさん）	56 人
7	⑦ パネルディスカッション	57 人
	無回答	0 人
	計	328 人

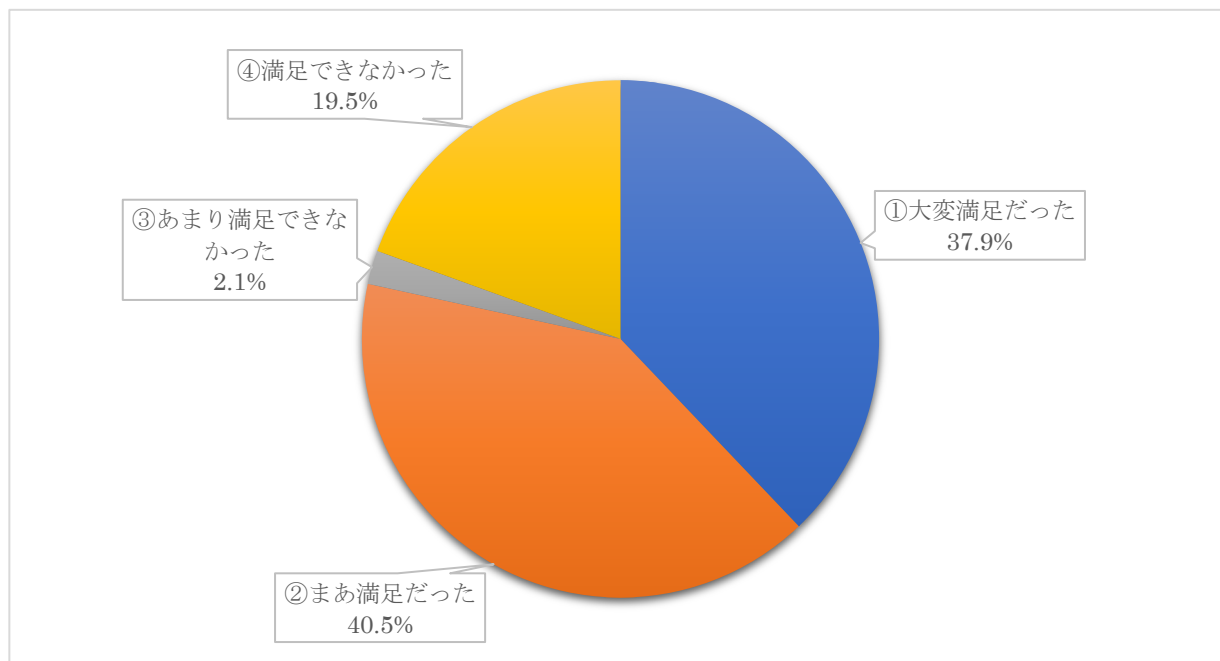


n = 98

※ n (=回答者数) に対する割合

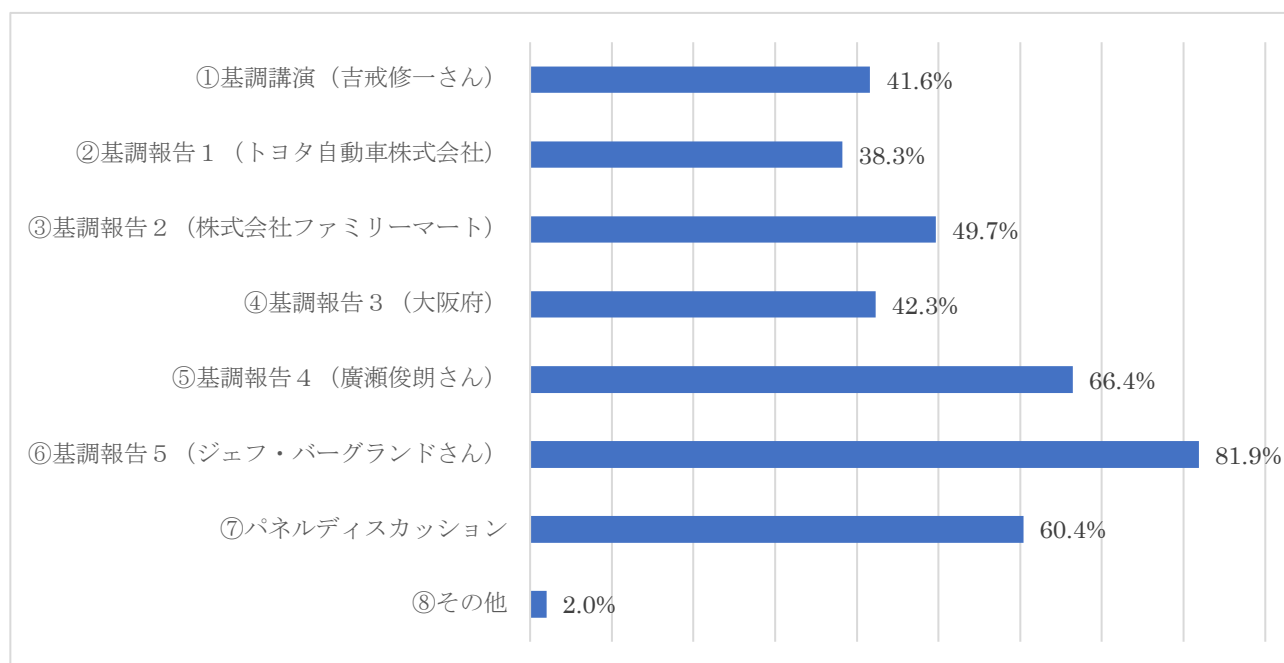
4-1. 今回のシンポジウムは全体として満足のいくものでしたか。

1	① 大変満足だった	72 人
2	② まあ満足だった	77 人
3	③ あまり満足できなかった	4 人
4	④ 満足できなかった	37 人
	無回答	0 人
	計	190 人



4-2-1. 「4-1」で「①大変満足だった」又は「②まあ満足だった」とお答えいただいた方に伺います。具体的にどの点がよかったかお聞かせください。(複数回答可)

1	① 基調講演 (吉戒修一さん)	62 人
2	② 基調報告 1 (トヨタ自動車株式会社)	57 人
3	③ 基調報告 2 (株式会社ファミリーマート)	74 人
4	④ 基調報告 3 (大阪府)	63 人
5	⑤ 基調報告 4 (廣瀬俊朗さん)	99 人
6	⑥ 基調報告 5 (ジェフ・バーグラントさん)	122 人
7	⑦ パネルディスカッション	90 人
8	⑧ その他	3 人
	無回答	0 人
	計	570 人

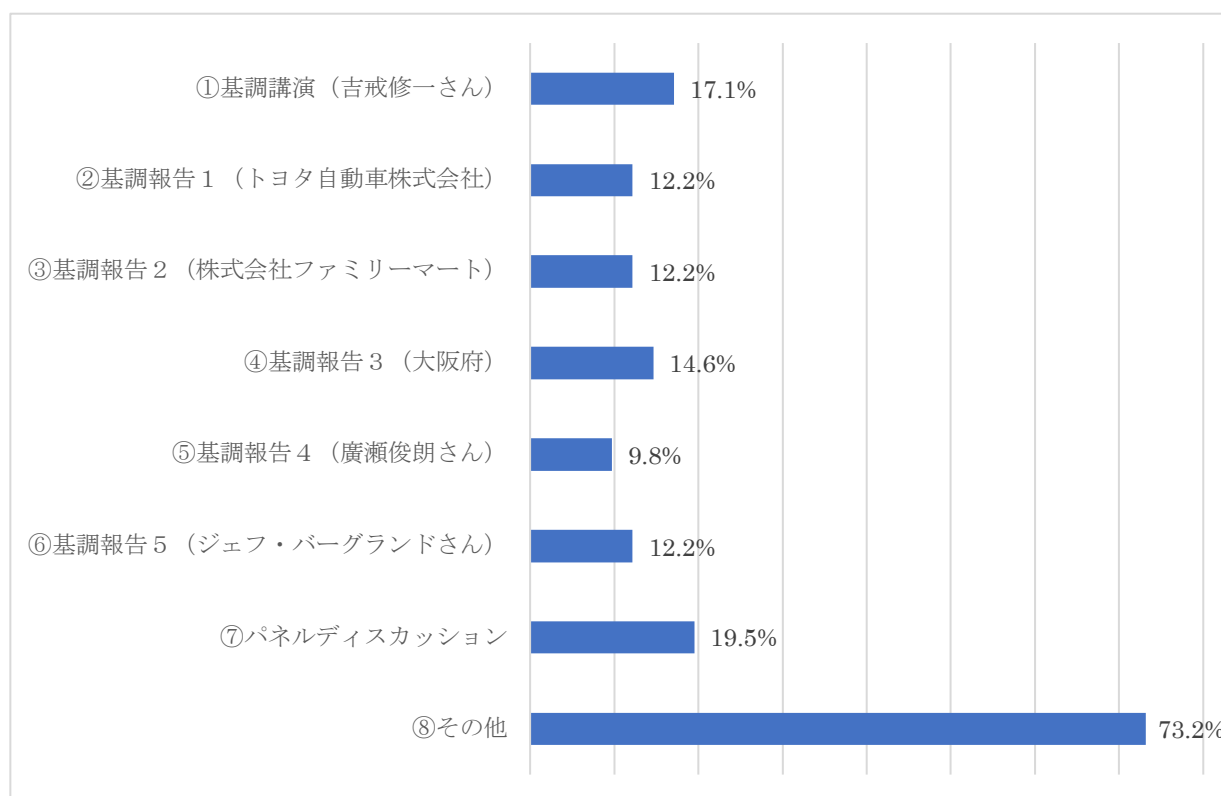


n = 149

※ n (=回答者数) に対する割合

4-3-1. 「4-1」で「③あまり満足できなかった」又は「④満足できなかった」とお答えいただいた方に伺います。具体的にどの点がよくなかったかお聞かせください。(複数回答可)

1	① 基調講演 (吉戒修一さん)	7人
2	② 基調報告1 (トヨタ自動車株式会社)	5人
3	③ 基調報告2 (株式会社ファミリーマート)	5人
4	④ 基調報告3 (大阪府)	6人
5	⑤ 基調報告4 (廣瀬俊朗さん)	4人
6	⑥ 基調報告5 (ジェフ・バーグラントさん)	5人
7	⑦ パネルディスカッション	8人
8	⑧ その他	30人
	無回答	0人
	計	70人

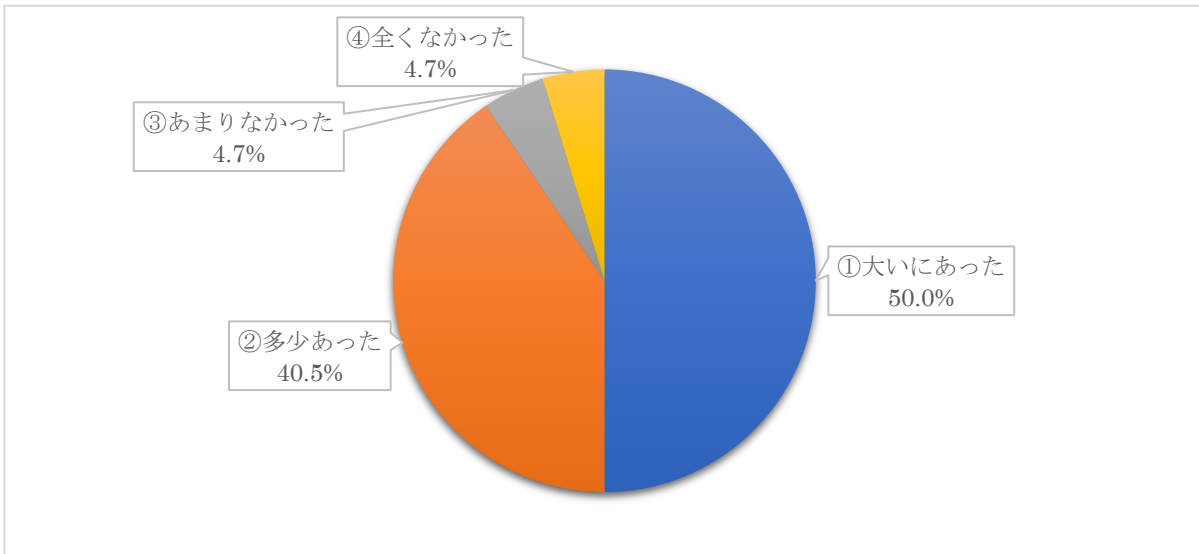


n = 41

※ n (=回答者数) に対する割合

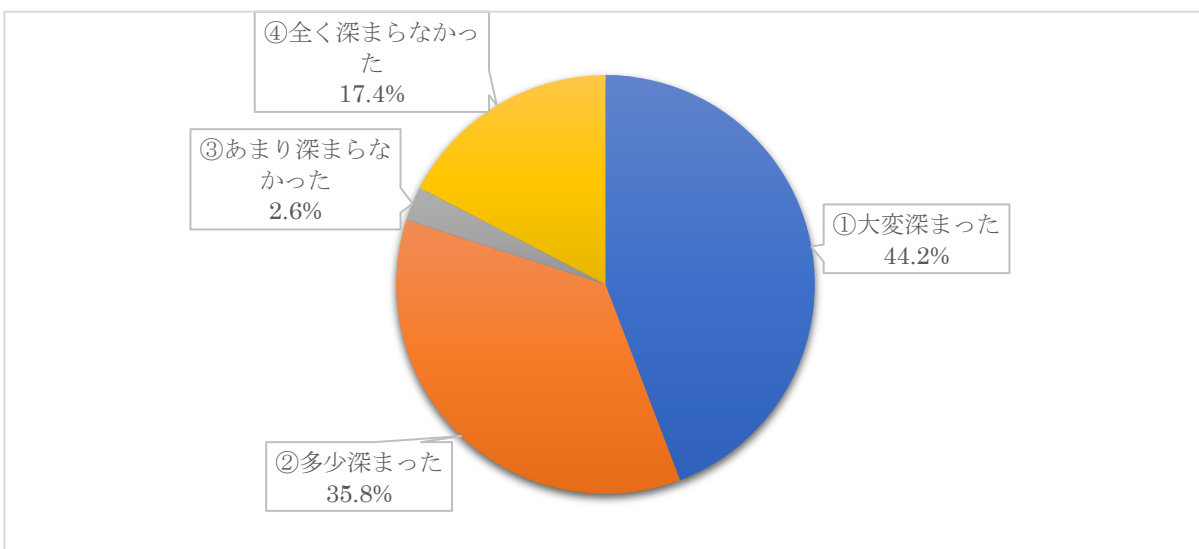
5-1. 今回のシンポジウムを視聴する以前に、共生社会についてどのくらい関心がありましたか。

1	① 大いにあった	95 人
2	② 多少あった	77 人
3	③ あまりなかった	9 人
4	④ 全くなかった	9 人
	無回答	0 人
	計	190 人



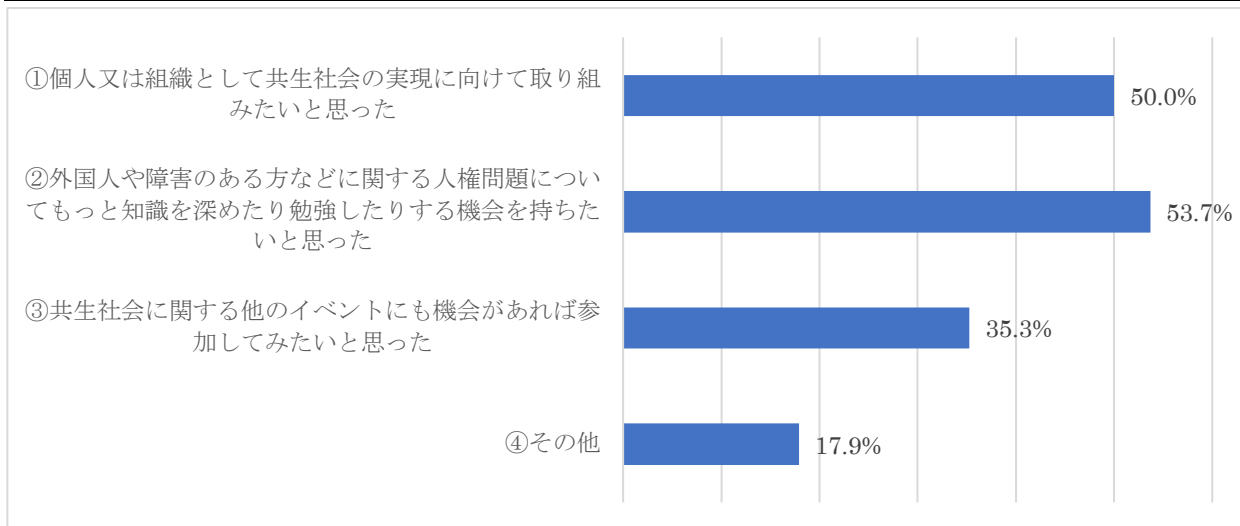
5-2. シンポジウムを視聴して、共生社会についての理解が深まりましたか。

1	① 大変深まった	84 人
2	② 多少深まった	68 人
3	③ あまり深まらなかった	5 人
4	④ 全く深まらなかった	33 人
	無回答	0 人
	計	190 人



5-4. シンポジウムを視聴して、共生社会に関して考えに変化はありましたか。(複数回答可)

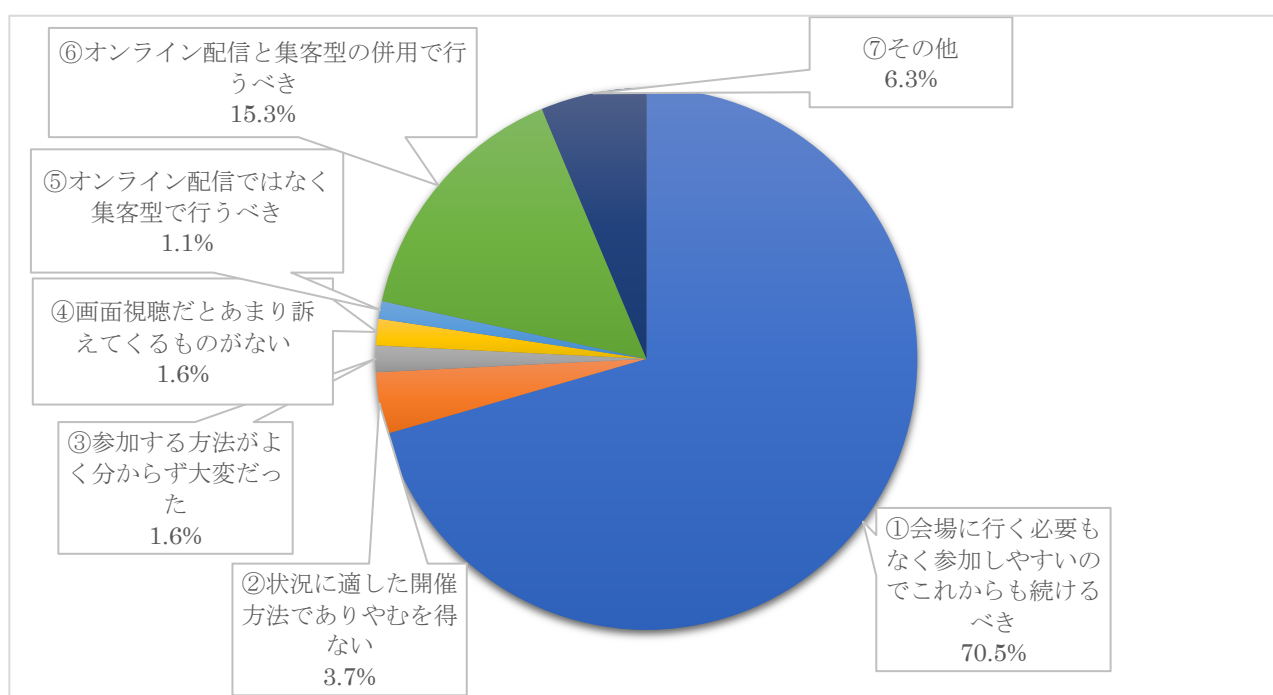
1	① 個人又は組織として共生社会の実現に向けて取り組みたいと思った	95人
2	② 外国人や障害のある方などに関する人権問題についてもっと知識を深めたり勉強したりする機会を持ちたいと思った	102人
3	③ 共生社会に関する他のイベントにも機会があれば参加してみたいと思った	67人
4	④ その他	34人
	無回答	0人
	計	298人



※ n (=回答者数) に対する割合

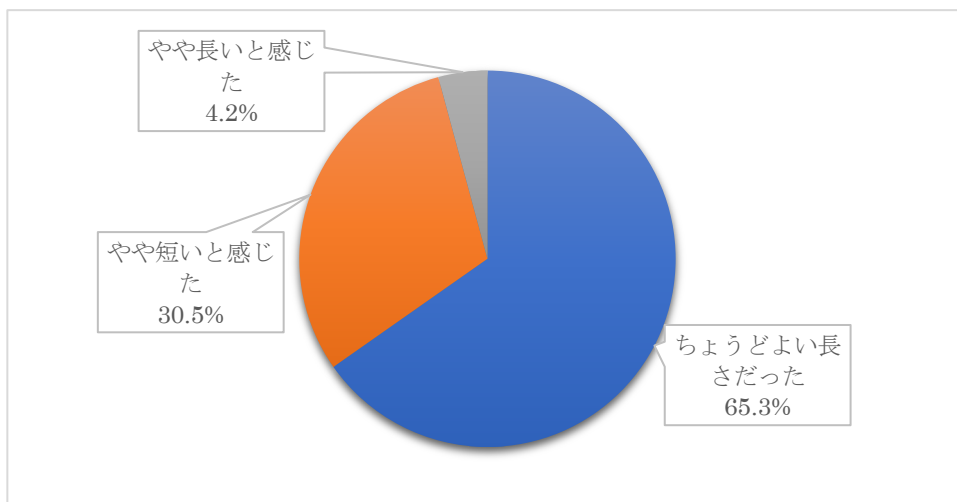
6-1. シンポジウムのオンライン開催について、どう思いますか。

1	① 会場に行く必要もなく参加しやすいのでこれからも続けるべき	134人
2	② 状況に適した開催方法でありやむを得ない	7人
3	③ 参加する方法がよく分からず大変だった	3人
4	④ 画面視聴だとあまり訴えてくるものがない	3人
5	⑤ オンライン配信ではなく集客型で行うべき	2人
6	⑥ オンライン配信と集客型の併用で行うべき	29人
7	⑦ その他	12人
	無回答	0人
	計	190人

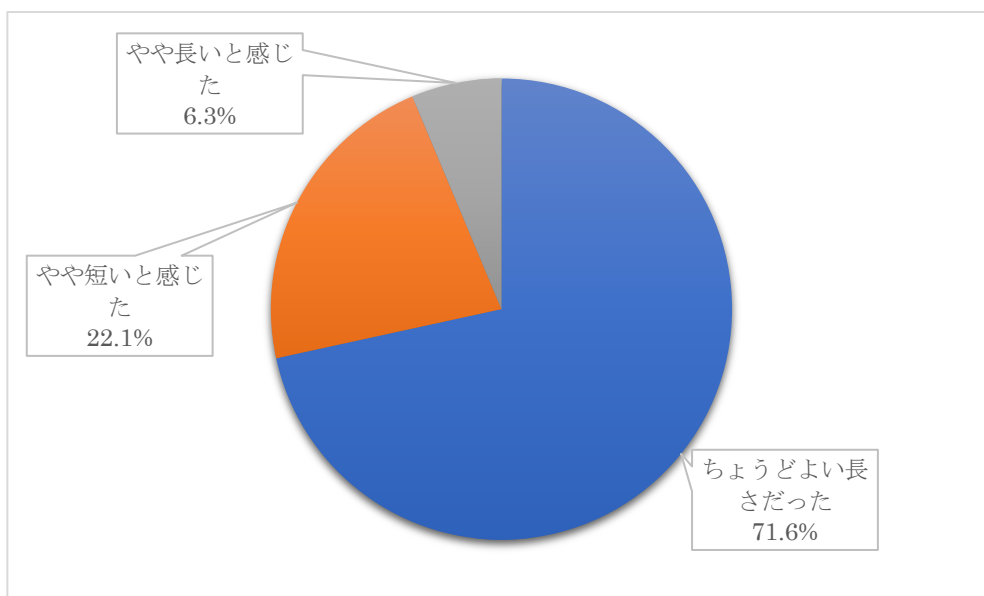


7. 各プログラムの時間についてどう思ったか、最も当てはまるものを選択してください。

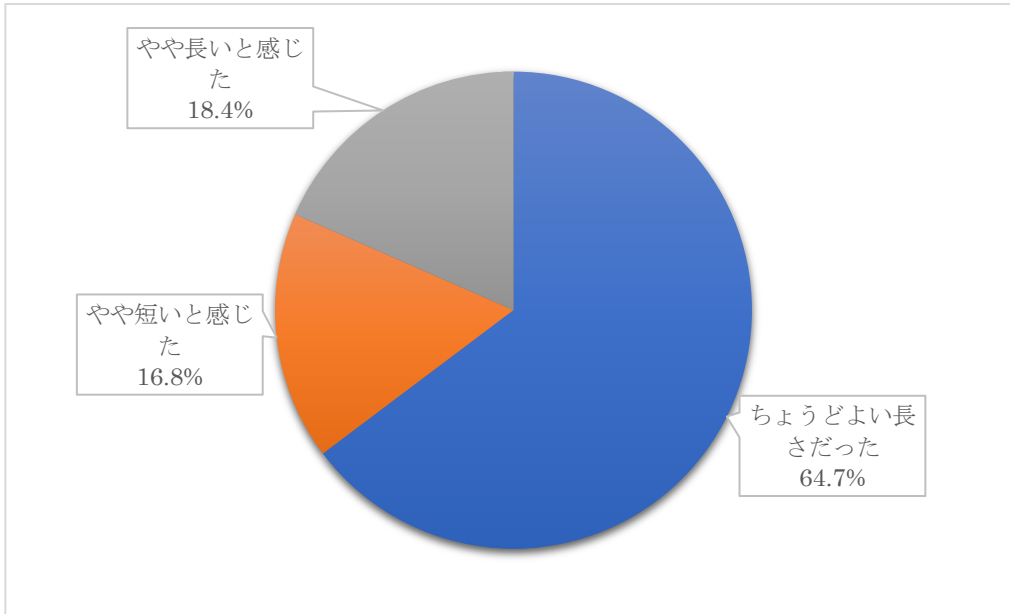
[基調講演]		
1	ちょうどよい長さだった	124 人
2	やや短いと感じた	58 人
3	やや長いと感じた	8 人
	無回答	0 人
	計	190 人



[基調報告]		
1	ちょうどよい長さだった	136 人
2	やや短いと感じた	42 人
3	やや長いと感じた	12 人
	無回答	0 人
	計	190 人

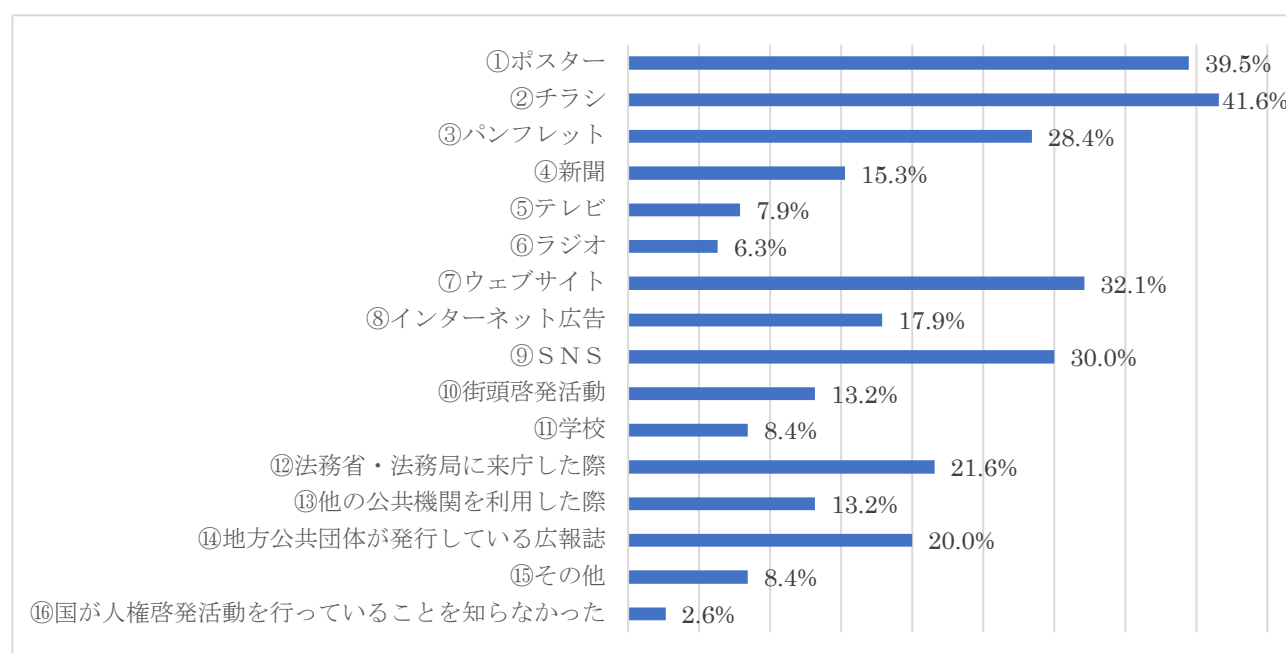


[パネルディスカッション]		
1	ちょうどよい長さだった	123人
2	やや短いと感じた	32人
3	やや長いと感じた	35人
	無回答	0人
	計	190人



8-1.本シンポジウムなど、国の人権擁護機関（法務省・法務局・人権擁護委員）は、広く人権啓発活動を行っています。国の人権擁護機関が人権啓発活動を行っていることをご存じの場合、どのようにして知りましたか。①から⑮の中から、当てはまるものにチェックを付けてください。（複数回答可）

1	① ポスター	75 人
2	② チラシ	79 人
3	③ パンフレット	54 人
4	④ 新聞	29 人
5	⑤ テレビ	15 人
6	⑥ ラジオ	12 人
7	⑦ ウェブサイト	61 人
8	⑧ インターネット広告	34 人
9	⑨ SNS	57 人
10	⑩ 街頭啓発活動	25 人
11	⑪ 学校	16 人
12	⑫ 法務省・法務局に来庁した際	41 人
13	⑬ 他の公共機関を利用した際	25 人
14	⑭ 地方公共団体が発行している広報誌	38 人
15	⑮ その他	16 人
	⑯ 国が人権啓発活動を行っていることを知らなかった	5 人
	無回答	0 人
	計	582 人



n = 190

※ n (=回答者数) に対する割合